

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育による児童に合わせた支援	お子さん一人ひとりの発達・行動面に合わせた個別支援計画を作成し、プログラムを組んでいます。遊びを通して、人とのコミュニケーションや達成感を体験していけるように工夫します。	障がい特性に合わせた療育内容や個別的な配慮、環境への工夫を行いお子様や保護者様が満足して頂ける様にしています。
2	保護者とお子様へのご相談	必要に応じて相談支援を行っています(加算対象)各関係機関との連携やこどもを取り巻く環境体制を整えること、保護者の方と交流を深め、お子さんをより理解していきます。	ご気軽にご相談できる様に、日頃からお子様のご様子や家庭や学校でのご様子を確認しながら保護者様とお話させて頂いております。相談しやすいような環境や保護者様との関係作りも大切にしています。
3	定期的な療育プログラムの見直し	定期的(6ヶ月に1回以上)な計画の見直しをすることでお子さんの成長を感じていきましょう。課題の見直し・お子さんの発達状態を確認する上でも効果的です。	日々のお子様の療育の中で「できた」「もう少しでできそう」等を把握しながら具体的にどうしたら出来るようになかをスタッフと考えながら、少しでもお子様の困り感が解消でき、「できる」が増える様に支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが狭い為、運動活動や体を動かす遊びに制限が出来るしまうこと	活動エリアが狭い事。1時間で4名利用された場合は、余暇エリアの大きいスペースが埋まってしまう。	狭いスペースの中でも効率よく体を動かす活動を考えて、療育が出来るように考えています。体を遊ぶ動かす活動も、順番や場所等のルールを設けて適切に遊べるようにしています。遊ぶ中でもルールの遵守することの大切さや順番を守る事をお子さまには伝えています。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 47名

回収数 72% (35名)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	5	0	0	車いすでも利用させて頂いています。本人も自由に動けるので嬉しいです。	利用されているお子様が活動に取り組みやすい環境設定は行い、確保させて頂いております。体を動かす活動は場所の狭さもありますので、その中でも運動が出来るように上手く組み立てています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	2	0	1	先生方は十分に休憩を取れているのでしょうか？いつもありがとうございます。常にマンツーマンで関わってくれています。遅れても児童発達の先生が関わってくれているので助かります。	基準の人員配置の規定を順守して運営しております。マンツーマンの療育をさせて頂いておりますので、その子に合った支援を考え実施しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	4	0	0	大好きな本も綺麗に配置されて取りやすくなっております。勉強スペースもわかりやすいです。段差もなくバリアフリーになっており使いやすいです。	お子様が取りやすい様の配置や位置設定を行っております。活動スペースも個別になっておりますので、取り組みやすい環境になっております。お子様が安全に来所出来るように、特性に応じたご配慮はさせていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	2	0	0	ボールを使う遊びをするには狭いと感じます。いつも綺麗で整理されています。心地よく過ごさせています。	体を動かす活動は狭く感じております。その中でも安全にご本人様と出来る活動を提案しながら進めて参りたいと思っております。お子様が気持ちよく利用できる様に清掃や整理整頓も今後も定期的に行ってまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	0	0	1	車いすでも利用できる様にして下さったり、下肢装具も細やかな所まで支援頂いております。	特性に合わせたご配慮はさせて頂きたいと思っております。安全安心に楽しく活動が出来るように、細やかな部分までサポートさせていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	0	0	1	子どもに合った支援の仕方を考えて下さり、支援プログラムと内容は合っていると思います。	まだクラ・ゼミでは公表しておりませんので、公表しましたら支援の内容を見て頂きたいと思っております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0	とても細やかな事まで考えて下さり、こちらのニーズに常に対応して下さい計画も作成して頂いております。	ご本人様の障がい特性の理解やアセスメントに応じて計画をさせて頂いております。またご本人様のニーズや保護者様のニーズも大切にしております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	1	どの項目も子どもが過ごしやすくなるように工夫されています。具体的にも設定されておりわかりやすくなっています。	ご本人様の支援、ご家族との支援も相談させて頂きながら具体的に示せる様にしてあります。

	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	0	本人がやる気になる様に計画を立ててくれます。モチベーションがあがる工夫もしています。	ご本人様が意欲的に取り組める様な工夫はさせて頂いております。また来たいを思って貰えるように支援を計画して取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2	0	3	少しずつでも「できる」を増やした自信につながる様に工夫して頂いています。	出来る事が増える様に支援を工夫しながら行っています。出来た達成感や自己肯定感を大切にしながら自信に繋がる支援を行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	7	4	16	書類等を頂き説明を頂いています。	現状は関わる機会はありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	0	書類等を頂き説明を頂いています。	ご契約時にご説明させて頂いております。わかりやすく丁寧に説明はさせて頂いております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	0	時間を設けて頂き詳しく説明を頂いております。	保護者様には支援内容のご説明をさせて頂き、了承を得ております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	6	3	6	どうすればやりやすいかを一緒に考えアドバイスを頂いております。	ご家族の方に対する情報の提供や研修会のご案内は継続させて頂きます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	35	0	0	0	先生と毎回話をさせて頂き共通認識させて頂いております。	支援終了後には、保護者様と取り組んだ活動の内容を共有させて頂いております。保護者様と共通の認識を今後も深めてより良い支援に努めたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2	0	0	不安な事も話しやすい環境であり支援頂いています。	保護者様のご要望に応じてご相談させて頂いております。保護者様のお話を聞きながら、保護者様の不安感や悩みを少しでも軽減できる様に努めています。ご気軽に相談して頂けたらと思っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	0	0	常に一緒に考え支えて頂いております。	今後もご本人様と保護者様に寄り添いながら一緒に考え支援していきます。共感をする事で、保護者様の気持ちや想いをより理解出来ると思っています。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	4	14	同級生のお母様と話す機会もあり、お互いに情報交換をさせて貰っています。	保護者同士でのイベントは少ないですが、今年度は茶話会を実施させて頂きました。保護者様からのご本人様への悩みや苦悩を聞かせて頂きました。今後の支援の取り組みやご本人様の理解に繋がり有意義な時間でした。今後も計画を行い保護者様と交流できる機会を作っていきたいと思ひます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	0	0	5	いつでも相談に乗って下さり支援して下さるので安心しています。	ご相談を希望された際は、すぐに相談できる様に調整をさせて頂いております。また定期的に周知をさせて頂いております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	34	0	0	1	出来たことを報告して下さり、「できた」を一緒に喜んで頂いています。	修了後にはフィードバックのお時間を設定させて頂き、活動の様子やご本人の様子を
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	2	0	5	お手紙で見させて頂いております。	定期的に活動の内容の通信の発行やブログやinstagramを用いて活動を発信しております。またホームページには自己評価も掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	31	0	0	4	されていると思ひます。	個人情報に関しては同意書に基づいて慎重に扱いを行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	0	0	5	されています。	各種マニュアルを策定しております。保護者様にはご契約の際に、各種マニュアルの重要な内容をお話させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	0	0	7	されています。	事業所では災害に対応できる様に、訓練の実施を行っております。また子ども達にも災害の理解をして頂いております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	28	1	0	6	肢体不自由で安全に活動できる様に確保してくれています。	安全安心に活動が出来るように、安全計画を作成させて頂いております。定期的に環境の点検や整備を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	31	0	0	4	今までにはないですが、あった時にはすぐに対応して下さり、連絡頂けると思ひます。	事故が発生した場合には、ご本人の安全確保を優先に行い、速やかに保護者様に状況説明とご対応について報告させて頂きます。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	0	0	1	強い安心感があり通っています。	子ども達が安心して来所して頂ける様に、環境の設定や来たいと思って貰えるような活動を行って行きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	4	0	1	行けば楽しんでいるが友達とのゲームを辞められないと行き渋りがあります。毎週何をするのか楽しみにしています。	ご本人様が楽しんで活動できる様に、スタッフが準備をしています。飽きない様に、同じにならないような工夫をしながら支援を設定させて頂いております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	1	大変満足しています。今後お世話になりたいです。	ありがとうございます。今後もご本人様や保護者様が満足できる様に支援の充実やより良い環境の設定に努めて参ります。少しでも来て良かったと思って頂ける様にしていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	上手くスペースを活用して利用児童が療育出来るスペースを確保している。	3人受け入れなら適切だが4名受け入れる際は狭く感じる。活動スペースが狭く、運動療育の出来ることが限られてしまうことがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	数人でのサポートが必要な時に対応出来ている。人員基準を守りながら受け入れている。	適切ではあるが、スタッフが体調不良等で休みする際は配置が厳しい時もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	エレベーターが設置しており車いすでも来所出来る。段差等は無い。	ブースが狭く車いすが出入りにくい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日掃除を行っている。大掃除も行っている。子どもの目線や取りやすい位置など子どもの目線に立って配置しています。	スペースが狭く運動遊びが出来ない時がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	クールダウンできるスペースがある。個別ブースで活動をすることが出来る。一室だけ確保出来る状態にある。	スペースが狭く個別で使う際に、物を整理する必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的に会議を行い目標を振り返っている。会議にはできる限り1人参加している。	PCDAサイクルの理解が浸透していない。より会社で業務改善を図る為に、理解する必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に保護者様からお話を聞いている。毎年振り返っている。真摯に受け止めて出来る限り改善している。	環境の問題に関しては会社判断で行う為、改善が難しいケースもある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に面談を実施している。運営会議を行っている。朝礼や終礼の際に発信する機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者の評価は行ってない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修を行っている。参加できないスタッフには後日研修の内容をお伝えして共有している。会社内での研修に参加出来ている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	まだクラゼミでは実施できていない。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	定期的にあセスメントを作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリングや定期的に意見交換を行っている。会議の場を設けている。		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個々のファイルに保管していて、職員全員が確認することが出来る様になっている。方向性を確認しながら進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	社内のアセスメントツールをしようしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインを確認して項目の設定を行っている。ガイドラインを共有しており、作成時には意識しながら行っている。事業所としてはニーズがあれば対応するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	小集団の活動の打ち合わせを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	目標達成の為にプログラムを毎回変えて支援を行っている。材を偏りなく使用している。定期的な集団活動を入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	小集団の活動と個別活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	個別療育メインの為分担がないが何かある時には連携して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	別のスタッフが入った際も引継ぎを行っている。次に活かせる様な振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	客観的に捉えた記録の作成を行っている。変化や相談内容は共有している。記録作成に関しては徹底して行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリング期間内に実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	偏りがない様に組み合わせ活動を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	先回りして支援するのではなく、一緒に考えていながら徐々に自己選択出来るように支援しています。選択肢を設ける中で、子どもたちに選ぶ機会を設けている。	
	関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管や担当のスタッフが参加しているお子さんに関わる人が参加できる様に予定を設定している。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	体制を整えていきます。協力医療機関と提携している。	
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	場合に応じて、お手紙での対応や電話での対応を行っております。支援時間の調整をする為に把握している。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	園での様子を情報共有しています。	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	これまでの内容を引き継いでいけるように情報提供を行っています。 必要な限り情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		どうい人がスーパーバイザーかわからない。 児童発達支援センターとの連携はほとんどない状況。必要に応じて相談していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	個人間ではあるが事業所としてはない。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	協議会や見学会等に参加しています。	協議会への参加は出来ていない状況。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	保護者の来所がない場合には連絡帳を用いて状況の共有を行っています。 こまめに状況を伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	提携する発達研究所から講師を招いて研修を行っています。 ペアレントトレーニングを専門的には行っていない。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	書面と共に伝えています。 利用契約の際にお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	ニーズを聞き反映させている。 親御さんのニーズを大切にしながら支援しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	同意の上で進めている。 親御さんへの丁寧なご説明を心掛けております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	日々の生活での悩み等を聞き相談援助を行っています。 必要とされている際には時間を取り対応している。 要望には真摯に対応させて頂いております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	座談会の機会を設けている。	父母会の活動は支援していない状況。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	クレームがあった際には迅速に対応している。 苦情や要望があった際には職員間で協議します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月2回のホームページの更新や月1回の通信を発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	重要な書類はロッカーに保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵や文字、音声等を本人のわかりやすい伝達方法を使用しています。 言いたい事は代弁しながら伝えている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	HPで提示したり、周辺にお知らせしております。	招待するにはスペースや規模が小さすぎて難しい。	



非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的に訓練を実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	3	全体で共有してご本人の状況を確認しています。 ある程度の服薬については把握している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	アレルギーがある時には親御さんを通して話を聞いています。	食事提供を行っていない為、把握できていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	必要な研修や計画を作成して、安全に運営出来切る様に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	作成したものを教室内に掲示して周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	クラゼミで共有を行い、校舎間でも共有検討を行っています。 報告書を作成し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修が行われています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束についての記述と共に保護者様に説明を行っている。		